

# 「雑がみ」は大切な「資源物」

習志野市で収集されるごみの8割近くが**燃えるごみ**でその約半分が「紙類」です。この中には、資源として再利用できる「雑がみ」が多く混ざっており、分別することで限りある資源の節約とごみの減量に繋がります。分別にご協力ください。ホームページに雑がみ分類表も掲載しておりますのでご活用ください。雨天でも収集しますが、資源として再利用するため次の収集日に出してください。



## 雑がみ (リサイクルできる紙)

<b>はがき、名刺</b> 	<b>お菓子などの紙</b> 	<b>ティッシュの箱</b>  ※取り出し口のビニール部分を取り除く	<b>包装紙</b> 
<b>封筒</b>  ※のり部分の粘着物や切手、窓付き封筒のビニール部分を取り除く	<b>ラップ等の箱や芯</b>  ※刃を取り除く ※ラップの芯はつぶす	<b>紙袋</b>  ※持ち手が紙以外の場合は取り除く	<b>カレンダー</b>  ※金具やプラスチックでできた部分を取り除く

雑がみだけを束ねてひもでしぼる

雑がみだけを中身が見える状態で別の紙袋に入れ、ひもでしぼる

**資源物** の日  
に出してください

雑がみを一時的に保管する「**雑がみ保管袋**」を公民館などの公共施設で配布しています。

## 資源物で出せない紙

<p>写真</p>	<p>感熱紙 (レシート、FAXロール紙)</p>	<p>汚れた紙</p>	<p>圧着はがき</p>	<p>アルバム等</p>	<b>他にも</b> ●和紙 ●銀紙 ●油紙 ●合成紙 ●粘着テープ ●シュレッダーくず ●緩衝材 (靴の中の詰め物など) ●においがついた紙 など
<p>カーボン紙・感圧複写紙 (宅配便の複写伝票など)</p>	<p>防水加工された紙 (アイスクリーム、カップめんなど)</p>	<p>ビニールやアルミ箔などの複合紙</p>	<p>食品が直接触れた紙</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>リサイクルに向かないため <b>燃えるごみ</b> に出してください</p> </div>	

食べ物を無駄にするのはもったいない

# 食品ロスを減らしましょう!

買い過ぎない  
使い切る  
食べきる

「**食品ロス**」とは、食べられるのに廃棄される食品のことをいいます。日本では毎年大量の食品ロスが発生し、大きな問題になっています。一人ひとりが「**もったいない**」を意識して行動しましょう! 環境省のホームページではより詳細な情報が掲載されています。



食品ロスはこんなにも…

日本の1年間のごみの量 **約472万トン**  
 1日に発生する食品ロス **大型トラック1,290台分**  
 1人当たり **毎日おにぎり1個**を捨てている

### 食品ロスを減らすコツ



#### おかいもの編

- 1. おかいもの前に冷蔵庫チェック!**  
買い物前に冷蔵庫や食材庫を確認し、無駄な買い物はしない。
- 2. 買いすぎない!**  
まとめ買いを避け、使う分・食べきれる分だけ買って食べきる。
- 3. 期限表示を知って賢く買う**  
利用予定と照らして、すぐ使う食品は棚の手前からとる。

※外食時は注文しすぎない、食べきれなかったものは持ち帰るなど、食品ロス削減にご協力ください。

#### ご家庭編

- 1. 適切に保存する**  
食品ごとに記載された正しい保存方法に従い保存し、劣化を防ぐ。
- 2. 食材を上手に使い切る**  
古い食材から使う。レトルト食品などは古くなったものから食べ、その分だけ買い足すことで、災害時への備蓄になる。
- 3. 食べきれる量を作る**  
体調や健康、家族の予定も考慮し作りすぎない。

